

中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひこ未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285 vol.17
ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com> e-mail tonpei@i-berry.ne.jp



公約の実現に向けて第1歩!

6月定例議会・一般質問



6月定例議会の質疑・一般質問が11日(月)、12日(火)の2日間にわたって行われました。改選後初の定例議会であった今回、中村は1日目のトップバッターとして登壇。選挙時の公約などに基づいて計

3件の一般質問を行い、執行部の考えをたどりました。
(中面に関連記事)

中村が行った一般質問の内容

1. 市民と行政の協働によるまちづくりについて
 - (1) 自治基本条例の制定について
 - (2) 市民活動推進センターについて
2. 二宮町との市町合併について
 - (1) 市民に対する情報提供等について
3. 起業家に対する支援策について
 - (1) 図書館を活用した起業家支援について
 - (2) インキュベーション・マネージャーの配置について
 - (3) MOP21に入居する企業の退出後の対応について
4. 介護予防筋力トレーニングについて
 - (1) 各地域で行われているノンケア体操について



改選後初めての定例議会ということもあるのですが、今回は傍聴者の多さに驚かされました。2日間でのべ90名の方が傍聴席にいらしたとのこと。(本当にありがとうございます!)

また、二宮町からわざわざお越しになられた方の姿も目立ち、本市との合併問題について関心が高いことを改めて感じた次第です。

市民と市政のかけ橋になりたい! ☆お気軽にお声をかけて下さい。お友達との井戸端会議、勉強会等。2〜3人でも結構です。どこへもお伺いいたします。あなたのアイデアを市政にいかしたい! お気づきの点がございましたらどんな小さなことでも結構です。ぜひご意見を!

「見逃した!」という方にバックナンバーをお送りします。これまで「未来をつくる会」では、毎回定例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ましたが、1〜16号までを見逃された方は、お気軽にご連絡下さい。こちらからお送りさせていただきます。

次回発行予定日 10月14日(日) 発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。



真岡市・三宮町 編入合併に向けた協議へ



今年3月に二宮町から編入合併の申し入れがあったことを受けて、6月14日(木)、福田武庫市長と西田一之市議会議長が二宮町役場を訪れ、「編入合併に向けて協議する」という回答書を提出しました。

両市町は今後、9月に行われる定例議会での議決を経て、平成21年3月末までの合併を目指して、本格的な話し合いが行われる予定です。

平成21年3月末目標

今後のスケジュール (予定)

- 今年7月~ 市民への方針説明
- 9月 両市町の議会で「法定合併協議会設置議案」を議決
- 10月 法定合併協議会を設置

↓
・基本計画の策定
・事務事業の調整
・合併協定調印
・両市町議会での議決などを経て…
平成21年3月

新・真岡市誕生

なぜ合併の目標が平成21年3月末なのか?

現在の「合併特例法」では、有効期限が平成22年3月末までとなっています。

ただし、普通交付税の特例措置の期間が、

- ・平成20年度までの合併…7年間
- ・平成21年度の合併…5年間

と差があるため、平成20年度内での合併を目標としていると考えられます。



お知らせ

二宮町との市町合併についてアンケートを実施しております。詳しくは、中面をご覧ください。



中村かずびと議会レポート

6月議会一般質問

答弁：福田武隼 市長
小松廣志 総務部長

1. 市民と行政の協働によるまちづくりについて



質問 全国各地で『自治基本条例』を制定する自治体が増えている。栃木県内でも、**県と4市（宇都宮市、小山市、栃木市、日光市）で条例制定に向けた動き**が見られる。**本市も、第9次市勢発展長期計画の中で『市民と協働のまちづくり』をうたっている。そのことを考えると、『自治基本条例』を制定させ、市民、行政双方の権利・責務・各種の手続き等を明文化する必要性がある**と考えるが。

答弁 『市民と協働のまちづくり』は、第9次市勢発展長期計画の基本方針として掲げており、行政評価システム、情報公開制度、パブリックコメント制度、各種審議会等の委員公募、環境パートナーシップ会議、自治会による総合地域づくり事業等を積極的に実施している。したがって、現在のところ『自治基本条例』を制定しなくても、**住民と行政の協働によるまちづくりは十分推進していける**と考えている。

質問 今年度整備される『市民活動推進センター』は、**職員を嘱託等で雇用する予定**になっている。ただし、職員には市民活動に対する高度な知識や、コーディネート能力が求められており、**センター開設前に教育・研修の時期を設けるべき**である。現時点では、どのような研修を実施する計画なのか。

答弁 『市民活動推進センター』については、スケートセンター2階の休憩室部分を活用して、**来年1月中旬にオープン**する予定である。職員は、業務が適切に執行できるよう、市民活動に対する知識や経験のある方を採用したい。また、**オープンの2～3ヶ月前には雇用し、研修会等に参加**させ、必要な知識を習得させていきたいと考えている。

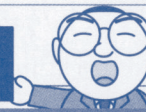
2. 二宮町との市町合併について



質問 今年3月、二宮町から編入合併の申し入れが行われた。しかし、市民の間には『**合併してメリットはあるのか**』、『**合併して大丈夫なのか**』という疑問の声があるのも事実である。今後、市民に対して**どのような形で情報提供、意見交換を行うのか**。

答弁 二宮町とは、生活圏や行政権が一体化しており、土地利用や農業等の分野でも似通っているため、**一体的なまちづくりが行えるのではないかと**思っている。**二宮町からの申し入れには前向きに対応していきたい**。市民の一部には『**財政力の高い真岡市が不利になるのではないかと**』といった声があることも承知している。合併協議を進めることになった場合は、**市民説明会の実施等、積極的に情報提供するとともに、市民の声を十分聞いてまいりたい**。

3. 起業家に対する支援策について



質問 『課題解決型の図書館づくり』が叫ばれる中、**起業家支援を行う図書館**が全国的に増えている。栃木県内でも**小山市立中央図書館で『ビジネスバックアップ事業』**が展開されており、ビジネス関連図書等をそろえた『**ビジネス支援コーナー**』を設置したほか、セミナーや相談会を図書館主催で行っている。**同様の取り組みは、本市の図書館でも可能**であると考えているが。

答弁 真岡市立図書館でも、昨年から準備を進め、**今年5月から『ビジネスコーナー』**を設け、経営、資格取得、起業等の図書、雑誌、リーフレット等を配置した。今後も、ビジネス支援サービスとして**情報提供の充実を図っていく**。しかし、**小山市のようなセミナーや相談会の開催については、現在のところ考えていない**。

質問 **起業家に対する経営指導**については、現在、**商工会議所の職員が他の業務の合間に行っている**のが実情である。しかし、指導する側も、より高度な知識や情報収集能力が求められている。さらに、産学官の連携等、外部の経営資源とどのようなネットワークを構築するののかということも、今後大きな課題となる。**専門的に経営指導を担当する『インキュベーション・マネージャー』を配置することが望ましい**と考えるが。

答弁 現在「MOP21」では、(財)栃木県産業振興センターの事業を活用し、同センターに在籍しているインキュベーション・マネージャーが相談に応じる体制をとっている。今後も、**(財)栃木県産業振興センター等の関係機関と連携を図り、現在の制度を有効に活用しながら、起業家支援による本市産業の持続的な発展を目指していく**。

質問 本市が整備した「MOP21」のような**インキュベーション施設**で、全国的に課題となっているのが、**入居企業が退出する際に他の自治体へ流出してしまう**ということである。そこで、『**MOP21の入居企業が退出する際、市の中心市街地で事業を展開することを、あっせん・支援する制度**』を設けることはできないものか。また、企業の退出後、**新たな入居者募集のPR方法は、どのようなもの**を考えているのか。

答弁 市としては、企業がインキュベーション施設を退出後、自分の力で事業を展開することが望ましいと考えている。また、退出後も(財)栃木県産業振興センターや真岡商工会議所の相談・指導等を活用できる。そのため、**市の中心市街地で事業を展開することを、あっせん・支援する制度については考えていない**。新たな入居者募集のPRは、現在、真岡商工会議所が発行している『**かいぎしょだより**』等を通じて行っているが、**今後はさらに市と真岡商工会議所のホームページを利用した募集も**行っていく。

4. 介護予防筋力トレーニングについて



質問 本市では、ノンケア体操をはじめとする**介護予防筋力トレーニング事業**が、2年前から実施されており、現在各地域において、はつらつ地域づくり事業やミニデイホーム等の中で取り組まれている。しかし、**実施しているのは、市内73区のうち18区にとどまっている**。また、実施頻度を見ても、地域間で温度差がある。今後どのようにして普及・推進を図るのか。

答弁 普及・推進を図るには、できるだけ身近なところで継続的に実施することが重要であり、そのためには**指導者の確保が必要**である。今年度も、指導者養成講習会を開催し、新たな指導者の養成を図るとともに、引き続き区に対して、『**はつらつ地域づくり事業**』への導入をお願いしていきたい。

要望

二宮町との市町合併について

合併したことによる**メリット、デメリットは、合併後の市政運営や住民の熱意によって大きく違ってくる。**
だからこそ、『なぜ二宮町と合併したのか』という思いを、多くの真岡市民

が引きずったまま合併をして、その後がうまくいく道理はないと考える。
ぜひ、**説明と意見交換には十分な時間をかけるよう、強く要望したい。**

再質問



自治基本条例の制定について

質問 執行部は『問題がなければ条例化する必要はない』という考え
のようである。
では、現在条例化に向けて準備を進めている、**栃木県及び宇都宮、
栃木、小山、日光の4市は、真岡市と比較して『協働』を推進する
にあたって、どのような問題があると考えているのか。**

答弁 宇都宮市では、市長の**マニフェスト**の中に『自治基本条例』の制
定が盛り込まれていたようだ。他の市についても、それぞれの考え方が
あって条例制定に向けた動きがあるのだと思う。
真岡市では個々の事業を積極的に実施しており、現在のところは『自治基本条
例』を制定しなくても、『市民と協働のまちづくり』は推進していける
と考えている。

図書館の起業家支援事業について

質問 真岡市立図書館でも『ビジネスコーナー』を設置したということ
を聞き、先日、状況を見てきた。ただし、ようやくスタートライン
に立ったばかりであり、**蔵書数等**を考えると**改良の余地は大いに
ある**と感じた。
また、**小山市が行っているセミナーや相談会についても、今後参
考にしていきたいと思います。**

答弁 図書館業務は、本市の図書館運営の基本方針に基づいて行っており、起業
家に対する**セミナーや相談会の開催については、商工行政が担う
べきもの**と考えている。
なお、研修・セミナー等については、**(財)栃木県産業振興センター等が、県
内の企業を対象に48講座を開催している**ので、活用していただければと考
えている。

インキュベーション・マネージャーについて

質問 **(財)栃木県産業振興センター**との連携を図っていききたいとの答弁であった。しかし、**同センターのインキュ
ベーション・マネージャーによる巡回指導は月1回程度**で、それ以上は少人数のため難しいのが実情である。
同センターとの連携を強めたいという考えについては賛同するが、そのためには**自前で、先方との窓口にもなる専門
の担当者を置くべきではないのか。**

答弁 (答弁なし)

介護予防筋力トレーニングについて

質問 今後、本市においても高齢化が急速に進むことが予想され、いかにして介護保
険の支出を抑えていくのかという課題に、本格的に取り組まなければならない。
介護予防筋力トレーニング事業については、『**何年後にいくつの区で実
施する**』という**数値目標を定めてもいいのではないか**と思うが。

答弁 取り組むべきメニューについては、**介護予防筋力トレーニ
ング事業に限定する必要はないもの**と考えている。
本市の場合は、**健康維持のための様々な方策が用意**されて
おり、それが**自慢の1つ**となっている。

再々質問



自治基本条例の制定について

質問 『市民活動推進センター』設置のためにつくられ
た**ワーキンググループが先進地視察を行
ったのは、条例化の動きがある宇都宮、栃木、日光
だった。**『協働』というものに真剣に向き合おうとすれば、
必然的にルール化の問題に直面するのではないだろうか。
つまり、『**自治基本条例を制定する考えはある
のか**』という質問は、『**市民との協働という課題に
真剣に取り組む考えはあるのか**』と同じ意味を
なすのだと思う。そこで再度、本市において自治基本条
例を制定する考えはあるのか聞きたい。

答弁 例えば、各地域で行わ
れている『**はつらつ
地域づくり事業**』は、**総
務省のホームページで
も紹介**されている。
そうしたところを見て、**本
市の協働への取り組み
は進んでいる**と考えている。

インキュベーション・マネージャーについて

質問 **インキュベーション・マネージャーの活
動対象は、『MOP21』の入居企業だけ
ではない。**既存の事業所が新規事業への参入を考
える時や、団塊の世代等がこれまでのノウハウを生かして
事業を起こそうとした時にも**必要性が出てくる。**また、
工業団地への企業誘致でも、他との差別化を図る上で
大きな強みになる。
**本市独自のインキュベーション・マネージャー
を配置することは、一考に価する**と考えるが。

答弁 図書館へ相談に行こ
うとする起業家のニ
ーズがどの位あるのか疑問
である。
真剣に事業をやりたい
のであれば、**専門家のいる
(財)栃木県産業振興センタ
ーや真岡商工会議所へ出向
いた方がよいのではないかと
考える。**

アンケートにご協力下さい!

「二宮町との市町合併」「真岡市政への提案」

皆様の声をお聞かせ下さい。

右のハガキを書いて ▶ 切り取って ▶ **ポストへ投函**

(投函する際、切手は不要です。)

郵便はがき

3 2 1 4 3 9 0

料金受取人払

真岡局承認

21

差出有効期間
平成19年10月
31日まで
(切手不要)

真岡市熊倉町3423-4

真岡市議会議員

中村かずひこ行



3 2 1 4 3 9 0

5

市政アンケート

お名前	
ご住所	(〒 -)
お電話	
Eメール	



私の政治活動費

この1年間（平成18年5月1日～平成19年4月30日）にかかった私の政治活動費についてご報告いたします。

項目	金額	備考
印刷・広告費	1,326,442円	『中村かずひこ通信』発行(年4回)、リーフレット等
ホームページ更新料	60,000円	
書籍・資料購入費	73,000円	D-file等
研修参加費	65,695円	清溪セミナー参加費等
交通費	9,860円	個人視察時の交通費
食料費	32,193円	市政報告会、事務所開き時の茶代等
コピー代	320円	
通信費	96,026円	郵便料、電話料
文具費	4,515円	封筒、ファイル、ノート等
家屋費	68,000円	事務所家賃
光熱水費	9,793円	水道料、電気料
その他	10,486円	事務所合鍵、薬品等

合計 1,756,330円



皆様からご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。
※詳細に知っていただくため、個人視察時の交通費なども掲載しました。
※なお、それ以前にかかった費用については、中村かずひこ通信「第1号」「第5号」「第9号」「第13号」をご覧ください。

コラム むあっぴ

いよいよ二宮町との市町合併に向けた議論が本格化する。順調にいけば、今年の10月には法定合併協議会を立ち上げ、その後、新しい真岡市の基本計画などを策定することになる。

今回の合併話が急速に現実味を帯びてきたのは今年3月7日。二宮町長、町議会議長が真岡市に対して編入合併の申し入れを行ったことによる。この申し入れに先立ち二宮町では、18歳以上の全町民を対象にアンケートを実施し、回答者の80.3%（回答率84.7%）が真岡市への編入合併を支持しているとのことである。この数字を見る限り、二宮町内においては、十分なコンセンサスが得られていると思われる。

では、我々真岡市側はどうだろうか。

これまで私も『二宮町と合併して一体どんなメリットがあるのか?』という質問を、多くの方から受けてきた。財政力に開きがある両市町の合併では、明確な「問題点」は数多く列挙できるのだが、「メリット」を挙げると大半が不確定要素であることに気付く。多分、真岡市民が合併

「協働のまち」に相応しい市町合併論議を!

のメリットを享受するには、合併した後の市政運営や住民の愛着度・熱意に依るところが大きいのだと思われる。

だからこそ…である。

合併後こそが重要なのだと考えれば、『なぜ二宮町と合併したのか』という思いを、多くの真岡市民が抱いたまま合併をして、“その後”がうまくいくとはどうしても思えない。ぜひ市当局には、迅速さだけにこだわることなく、市民に対して情報提供と意見交換に十分な時間をかけていただくよう要望したい。

真岡市は『第9次市勢発展長期計画』の中で、『市民との協働によるまちづくり』を大きな柱の1つとして掲げている。パートナーと位置づけている市民に対して、十分な話し合いがなされないまま、市町合併というまちづくりの重要な課題を推し進めることには、強い違和感がある。

“協働のまち”には、“協働のまち”に相応しい市町合併論議の姿があるはずだ。

市政アンケート

◆二宮町との市町合併について、あなたはどのようにお考えですか?

1.賛成 2.反対 3.どちらとも言えない

その理由など、コメントをご自由にお書き下さい。

◆「真岡のまちをこうしよう! あなたのアイデア大募集」(自由テーマ)



中村かずひこ活動目録

- 4/2 行屋川桜まつり点灯式
- 7 『大谷福寿会』4月定例会
大谷地区総会
- 8 駅前通り桜まつり
- 9 あいさつボランティア
真岡中学校入学式
- 10 真岡西小学校入学式
- 12 真岡地区戦没者慰霊祭
- 14 大谷地区「わかば会」総会
- 15-21 市議会議員選挙期間
- 22 市議会議員選挙投・開票
- 23 あいさつボランティア
当選証書授与式
- 5/7 あいさつボランティア
議員協議会
- 9 会派間協議
真岡青年会議所例会
- 11 臨時議会
- 13 さわやかデイホーム悠々10周年記念式典
- 15 『ひばりの会』研修(於:日光市)
真岡青年会議所長期ビジョン策定委員会
任期満了に伴う感謝状贈呈式
- 16 明治大学校友会栃木支部総会(於:宇都宮市)
コットンウェイ硬式野球倶楽部の応援(於:鹿沼市)
- 21 あいさつボランティア
- 22 真岡青年会議所主催「創造美育勉強会」
- 23 桐生市・地場産業振興センターを個人視察
小山市・市立中央図書館を個人視察
- 25 議会運営委員会
議会だより編集委員会
- 26 真岡西中学校スポーツフェスティバル
- 27 コットンウェイ硬式野球倶楽部の応援(於:鹿沼市)
- 28 あいさつボランティア
会派勉強会
- 28 真岡市男女共同参画社会づくり会議
真岡青年会議所長期ビジョン策定委員会
- 29 真岡青年会議所長期ビジョン策定会議
- 6/1 6月定例議会開会
真岡地区区長との懇談会
- 4 あいさつボランティア
一般質問の通告書を提出
※その後、市の担当部署と内容のすり合わせ
- 5 真岡青年会議所主催「創造美育勉強会」
- 8 栃木県産業振興センターを個人視察
- 11 質疑・一般質問1日目
※この日、1人目として登壇
- 12 議会運営委員会
議員協議会
質疑・一般質問2日目
- 14 総務常任委員会
真岡青年会議所長期ビジョン策定委員会
- 16 真岡市消防団夏季点検・消防操法大会
子どもを育む地域づくり研修会
参議院議員栃木県選挙区公開討論会(於:宇都宮市)
- 18 あいさつボランティア
議会運営委員会
議員協議会
6月議会閉会
議会だより編集委員会
- 19 『ひばりの会』定例会
- 20 笠間市・クラインガルテンを会派視察
真岡青年会議所長期ビジョン策定委員会
- 21 真岡青年会議所例会
- 22 「アグリネットワーク」勉強会
「ゴミ問題を考える栃木県連絡会」にヒアリング
- 24 視覚障がい者・点訳サークル・ひばりの会合同バスツアー
- 28 台若総会
- 29 栃木県旅館生活衛生同業組合総会
真岡商工会議所通常議員総会